

社会環境生命科学専攻—公衆衛生学分野— Department of Public Health

超マイクロ世界の生体作用を科学で実証する公衆衛生学の実現

公衆衛生学分野は、基礎医学を応用し、環境変化による生体影響を超マイクロ世界からヒト集団世界まで解析し、疾病予防法を解明することを研究目的としている。研究方法は、分子生物学的手法を用いた基礎医学から人の集団を対象とした疫学研究まで幅広い。

平成30年度教室配属テーマ

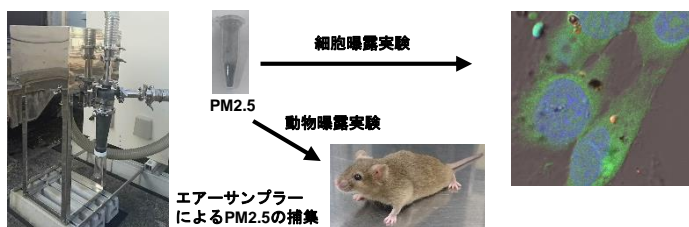
①PM2.5の喘息発症機序とその予防機序の解明

②第三世代遺伝子改変技術
CRISPR/Cas9を用いた分子生物学的技術の習得と発がん及びlong non coding RNAによる遺伝子特異的発がん制御システムの開発

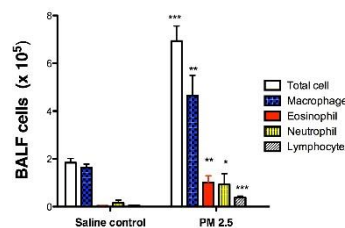
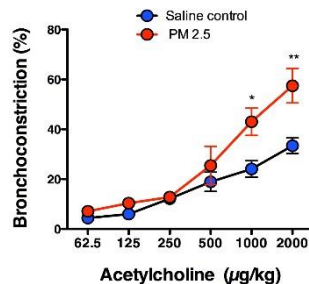
③アスベスト暴露による中皮腫発症予測遺伝子変異BAP1に関する臨床疫学的研究

④AIを用いて個々人に合わせた診療を提供するゲノム予防医療実現に向けての未病ゲノミクス解析研究

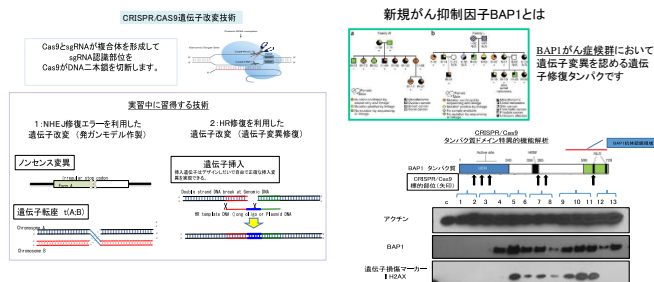
PM2.5の喘息発症機序解明研究



PM2.5は大気中に浮遊している2.5 μm以下の小さな粒子であり、肺の奥深くまで侵入するため、呼吸器や循環器系への影響が危惧されている。当教室では、捕集したPM2.5を用いて細胞曝露や動物曝露実験を行い、PM2.5による喘息発症機序とその予防法の解明を試みている。



中皮腫発症予測遺伝子変異BAP1機能解明研究



連絡先：公衆衛生学分野

住所：岡山市北区鹿田町2-5-1

Tel：086-235-7184

Fax：086-226-0715

E-mail：public@md.okayama-u.ac.jp

URL：http://www.okayamadph.jp/

教授 荻野景規

